

一人暮らし世帯のお年寄りのつどい「一人暮らしふれあい会」は四十七人が参加。火災予

高齢者福祉部会



2月19日・いこいの家

老人いこいの家で活動する十三グループが、第五回サークル発表会を開きました。合唱や踊り、花や手芸の展示など十九プログラムを八十人余りが楽しめました。

(部長 大津 信之)

平成二十八年度 専門部会の活動報告

総務部会

防の学習や元伴中PTAのコーラスグループ「トワイライト99」の心の歌で楽しいひと時を一緒に過ごしました。

(部長 上本 精三)



3月11日・いこいの家

障がい者福祉部会

一回目の障がい者ふれあいの会を沼田公民館大ホールで開催しました。四十九人が参加。午前は運動会、午後は温々亭眞喜子さんの歌謡漫談を観賞しました。

二回目の会を三月十九日、沼田公民館でパットパットゴルフ開催。

(部長 石富 三弘)



10月31日・伴小学校

児童福祉部会

むかし遊びの会は小学一年生を対象に一月に行っていました。が、今年から十月に変わりました。これを機会にアウトドアを



11月20日・沼田公民館

福祉委員部会

一種目、取り入れました。「しまとび」をやりましたが、われわれが昔を思い出し、けがをしないためにルールの変更もして大変でした。子どもたちは楽しんでくれたかな。

(部長 西田 雅行)

福祉委員研修会は、福祉委員と幹事会のみなさん四十人が奥畑の特別養護老人ホーム「和楽荘」を見学しました。新築施設の快適な居住空間と新しい医療の在り方などを学びました。午後は中区の広島市ごみ処理施設「中工場」を見学しました。

(部長 有馬 義憲)



2月9日・和楽荘

ふるさとチャンネル



子どもやお年寄りに優しい道路「ゾーン30」に10万円助成！

伴学区町内会連合会の新しい交通安全運動「ゾーン30」が二年目に入りました。子どもからお年寄りまで安心して



ゾーン30の啓発活動(11月12日・沼田ふるさと祭り会場)

歩ける地域にする取り組みです。この趣旨に賛同し、伴社協は平成二十八年度、10万円(二年間分)を寄付しました。この区域では、車を時速30キロに制限、安全施設も整えていきます。警察庁が二十三年に全国に呼びかけて始まりました。

伴学区では二十七年、三城

田町内会に「西風新都三城田みらい会議」が発足。昨年七月、この地区が県公安委員会からゾーン30に指定され、安佐南区から活力向上補助制度の助成金も受けて

横断幕や幟、シールを作りました。

二年目は、三城田町内会に伴中央町内会が加わり、新たに大原に近隣のライオンズマンション大原駅前、



グリーンヒル大原の三町内会が合同で「西風新都大原みらい会議」を結成しました。

健康のため歩いてほしいお

年寄りにも優しい「安全・安心のゆっくりん運動」が、地域に広がるよう願っています。

(川本 一之副会長)

「伴学区町内会連合会会長」

★ネット版「回覧板」に参加

広島市の地域ポータルサイト「こむねっと ひろしま」

に伴学区町内会連合会が今春、ホームページ(HP)を開きます。伴社協も協力し、町内会や住民と情報を共有します。

昨年秋の会合から十四町内会とともに社協も参加。HPの名称は「伴学区町内会連合会」。将来、学区内の各団体も加わる予定です。

こんなことができます。

①自分たちの「まち」の紹介

例えば、まちの歴史、世帯数、さまざまな取り組みなど。

②地域に密着した情報の発信

例えば、学区内の各団体の行事などのお知らせ。

③情報交換、行事予定の共有

例えば、行事カレンダーや各団体の活動の写真。

ネット版「回覧板」といったところでしょうか。伴社協も年二回発行の社協だよりや毎月発行の伴学区行事予定表などの情報を提供したいと考えています。

(事務局長 日野 賢司)



実技の練習をする左から日野事務局長、大津総務部長